



杉並景観録

Keikān-Roku

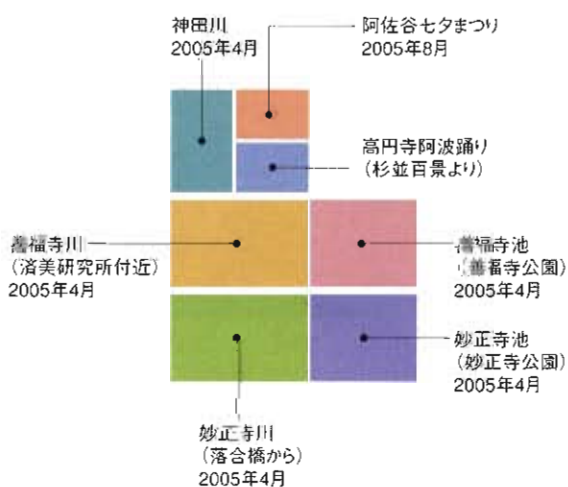
SUGINAMI

第十号

梅里中央公園のロウバイ
2006年1月撮影



●発行日 18年3月28日
●発行 杉並区都市整備部まちづくり推進課
TEL.3312-2111(代)



杉並は、「みどり豊かな閑静な住宅街」や「駅周辺の賑わいのある商店街」、「自然豊かな区内を東西に横切る三つの河川」神田川、善福寺川、妙正寺川などが主な特徴となっています。また、「阿佐谷のセタまつり」や「高円寺の阿波踊り」などは、地元の方々や区民の皆さんばかりでなく、区外からもたくさんの人たちが訪れ織りなす文化であり、杉並を代表する都市景観のひとつにもなっています。そして、人それぞれに「美しい」と感じたり「好きだ」と思う景観も様々です。

区では現在、杉並の良好な景観を守り、育て、また、新たに創るために、景観を先導する役割を担う「公共施設」の景観形成ガイドラインと、まちなみに大きな影響のある「大規模建築物等」を建築する際に、周辺への配慮を考えていただけるよう景観形成ガイドラインを策定しています。

杉並の景観

「関東の富士見百景」に東京富士見坂の一つとして「善福寺地区」が選ばれました

「関東の富士見百景」とは…

富士山への良好な眺望できる場所を選定し、周辺の景観の保全や活用への支援を通じて、美しい地域づくりの推進を目的として国土交通省関東整備局が実施したものです。関東1都8県の自治体や個人、市民団体などから多くの応募があり、その内128景233地点が選定されました。

「善福寺地区」は、23区内でまちを歩きながら富士山の見える坂を探している「東京坂の会」により推薦されました。

※「関東の富士見百景」の詳細については、関東地方整備局のホームページで紹介しています。

関東整備局ホームページ
<http://www.ktr.mlit.go.jp>
「関東の富士見百景」よりお入りください。



「関東の富士見百景」選定プレート



善福寺1-2付近
2002年2月19日撮影：広報課



2005年12月5日撮影

view point 3
善福寺一丁目

青梅街道から女子大通りに入って、善福寺郵便局前付近。または、女子大通りと北側に平行する数本の道(善福寺川の耕整橋、寺分橋、新町橋に向かう道)からも見ることができます。

view point 4
青梅街道

青梅街道「善福寺一」の交差点。view point3のあとに、「この場所は近いから、見えるかもしれない。」と期待しながら足を止めると、ビルの中に、しかもかなり大きく見えました。

桃井4-6付近

今回ご紹介した場所は、「歩きながら見ることが出来る富士山」の一部。他にもいろいろなところから富士山を見ることができそうです。実際に自分の足で探そうとしても、見える範囲も限られていて、見過ごしてしまいがちになります。高い所、低い所、じっくりまちを歩きながら、時には立ち止まって「自分だけの新しい富士山」を見つけてみませんか？

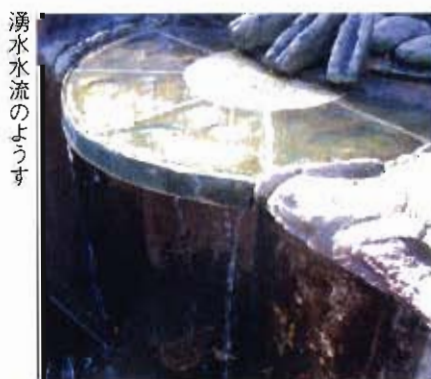
湧き水をたずねて

善福寺川御供米橋(おくまいばし)近くの護岸にカワセミが羽。そこは、「東京の名湧水57選」で、区内唯一選ばれている湧水の湧き出し口です。以前は、護岸に設置されたパイプから湧き出ているだけのものでしたが、昨年3月にきれいに生まれかわりました。「大宮」という場所の自然と歴史を活かしたオリジナルのお話をつくり、それをモチーフにした整備となりました。お話の中には、自然復元の象徴として「むらさき色作り装置」が出てきます。



「むらさき色作り装置」と「カワセミさん」

「この不思議な装置が、遺跡として発掘された」という想定で、湧き出し口がその「装置」の形になっています。そしてその傍らには主人公のカワセミさんが…
善福寺川は区内でもみどり豊かな自然が残され、美しい景観を望める場所も数多くあります。「カワセミさん探し」に、散策にかけてみてはいかがでしょうか。もしかししたら、本当のカワセミにも出会えるかもしれません。問合せは、建設課施設整備係へ



湧き水流のようす

おはなし「かわせみのそめものやさん」のあらすじ

昔、昔、杉並の西のはずれに染物屋さんのカワセミさんがいました。カワセミさんは自分の羽根の色で、みんなに綺麗な色をつけてあげていました。そんなカワセミさんでも、「夕暮れ色」「むらさき色」だけは持っていませんでした。ガガン博士にむらさき色のことを尋ねると、むらさき色はその名も「むらさき」という名の花から取れるといわれています。昔はカワセミさんの村でもむらさき色の花は咲いていましたが、今では「色の都」にしかありません。そこで、カワセミさんは「色の都」目指して旅に出ます。その旅の中で、カワセミさんは、自分の村でむらさき色の花がなくなったのは、自分たちが森や川を大切にしなかったからだということを知ります。途中、自分の色さえ失いかけて、やっとなの思いで「色の都」にたどりついたカワセミさん。でも、その「色の都」でもむらさき色の花

はなくなっていました。自分の「色の都」の神様と、森の動物たちの力を借り、「むらさき色作り装置」を完成させ、ついにカワセミさんはむらさき色を手に入れます。カワセミさんは、お返しに、今では白くなってしまった「色の都」のむらさき色の花を、一晩でむらさき色に染め上げます。カワセミさんは、むらさき色と、色のない世界はどんなに怖いかそして森や川を大切にすることがどんなに大事かというお話をお上座に、自分の村へ帰っていききました。©(有)ソル・クリエイティブ



光る水
©(有)ソル・クリエイティブ



旅立ち
©(有)ソル・クリエイティブ

杉並の道から 富士山を望む

空気の澄んだ晴れた日、ここ杉並でも富士山の姿を見ることが出来ます。けっして、高い所に上らなくても大丈夫。西南の方角に向かって、高い建物がなく、「見通しのよい道」や「川に向かって坂になっている道」に立ったりすると、その姿を望むことができます。見頃は、早朝や夕焼けのころ。富士山までは遠く、その裾野までは見ることはできませんが、建物の間をぬってその美しい姿を見ることが出来ます。

今回は、杉並から見えるいくつかの富士山の姿をご紹介します。

日本一高く、美しく

日本と言えば、「富士山」。日本を代表する、そして、日本の象徴として世界でもその名は知られています。関東に限らず、日本には「富士」の名がつく地名も数多く、その範囲は、北海道から九州までにも及びます。杉並区内でも地名ではありませんが、京王井の頭線富士見ヶ丘駅をはじめ、その付近の公共施設やグラウンドの名称等にも「富士見丘」が使われています。



杉並区役所の屋上から

view point 1

五日市街道

青梅街道から五日市街道に入っ
てすぐ、新高円寺地下自転車駐
車場出入口付近。五日市街道の遠く先
に富士山の頭がぼっかり浮かび上
がります。

梅里1-8付近



区政施行60周年記念「杉並百景」
(1993年3月30日発行)の絵ハガキより

view point 2

五日市街道

五日市街道と善福寺川が交差す
る尾崎橋付近。view point1から富
上山を探して西に向かい、「もう見え
ないかも知れない…」とあきらめかけ
た時、再登場!! でも、この先は見
つけることができませんでした。

成田東3-17付近



2005年12月5日撮影

News 阿佐谷の賑わいをデザインする

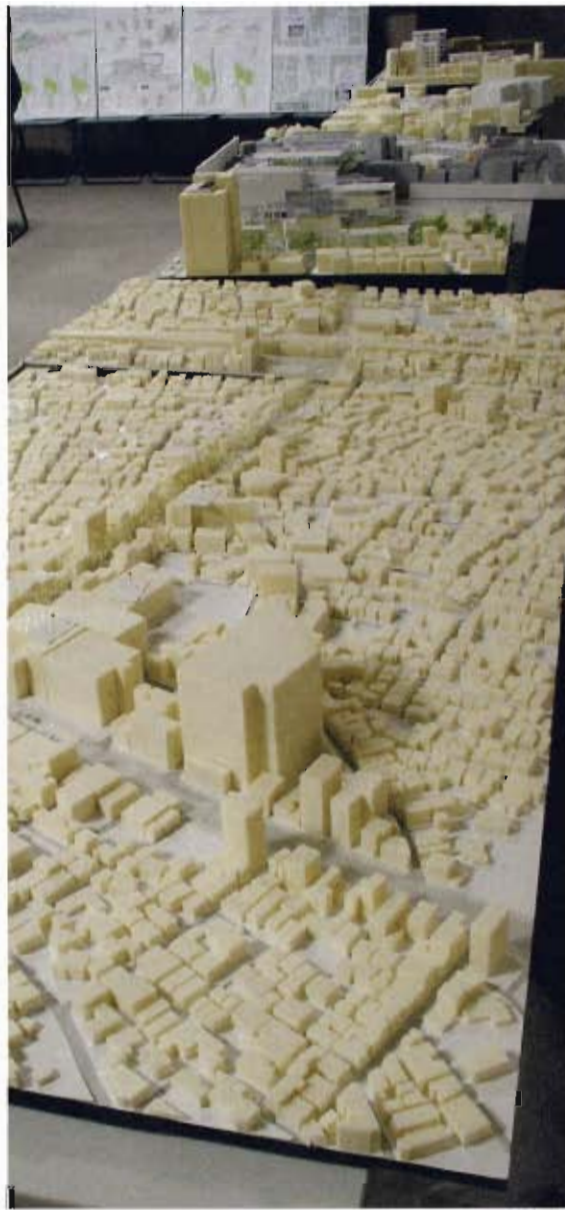
「阿佐谷のまちをもっと魅力的にするためには？」

大学生の目を通して、提案「景観まちづくり展覧会」と「発表会」

工学院大学都市デザイン学科



倉田教授の進行で、発表や質疑応答が進められました。



手作りの模型。その大きさは畳1枚分ほど!

平成17年4月から7月にかけて工学院大学都市デザイン学科の4年生のみなさんが、授業の一環として、自分たちで街を歩き、街の魅力を分析、課題を発見して、阿佐谷の街をもっと魅力的にするために、将来の構想を考え都市空間をデザインしました。

作品は、10月から11月にかけて、区役所1階ロビー、細田工務店1階リボン館、大田黒公園でのパネル展示や模型展示をはじめ、11月16日には、産業商工会館で地元の方々約50名を向かって発表会も行われました。学生の皆さんと地元の方々との間で活発な意見交換が行われ、また、発表の合間には交流が生まれるなど和やかな雰囲気となりました。

学生の皆さんは、勉強の成果を発表できるよい経験として、地元の方々は、慣れ親しんだ自分のまちをもう一度見直してみる良い機会となったようでした。



グループごとに「阿佐谷の街」への思いを発表。

News Suginami Calender

すぎなみカレンダー

月刊『東京人』1月増刊号
「杉並を楽しむ本」発売中
杉並区の魅力を一冊まるごとご紹介

平成17年7～8月に広報・ホームページ等で募集した「すぎなみカレンダー作成「あなたが感じた、あなたの杉並教えてください」」で、区民の皆さまからいただいた情報をもとに作成いたしました。

「文化の香り漂う杉並区」「自然とみどり豊かな杉並区」など、杉並の魅力が満載です。

特別付録 すぎなみカレンダー 3枚付き 全国主要書店、コミュかるショップにて、定価700円(税込み)で発売中



News

Suginami Urban Design Prize

第9回杉並「まち」デザイン賞候補募集

今回のテーマは
「素敵にがんばってる『まち』に拍手!!」

締切
せまる
!!

区内の「まち」で見つけたすてきな建物やまちなみなどをお知らせください。

皆さんの推薦のもとに選定し、表彰します。
自薦・他薦を問いません。

推薦対象 現存する建物 住宅・店舗など
工作物 看板・柵・ベンチ・植え込みなど
地域活動 まちなみを魅力的に演出している団体など

はがき、電話、FAX、メールで、まちづくり推進課まで下記の事項をお知らせください。

・推薦する建物などの所在地、住所
・あなたの住所、氏名、電話番号

締切 平成18年5月31日消印有効

発表 平成19年2月頃広報、リーフレットでお知らせします。



編集
後記

みんなが、自分のことだけではなくて、自分の住むまちを大切に思ってくれたら、ひとに「思いやり」を持たれたら、きっと素敵なお友達が集まり、素敵なおまちができる...と思う今日この頃。

from
editors